

2016年8月31日

株式会社フジオフードシステム(JASDAQ:2752)

「株式会社フジオファーム」における パッシブハウス型農業システムの導入について

株式会社フジオフードシステムの100%子会社である株式会社フジオファームは、食材の自社生産による安心・安全な食材提供、および更なるCSRの向上を目指す中で、鳥取県と提携し、農福連携(障がい福祉と農業の連携)による農業参入をし、現在、じゃがいも、たまねぎなどの生産を開始し、「まいどおおきに食堂」などへの農作物の供給を行っております。

今回、生産規模と品目の拡大に向け、パナソニック株式会社 エコソリューションズ社のパッシブハウス型農業システム5棟を導入し、ほうれん草を初めとする葉物野菜を効率良く栽培していくことを計画しております。

パッシブハウス型農業システムは、太陽光、水、風という自然の力を活用することで、省エネルギーでほうれん草などの葉物野菜の栽培環境をコントロールすることができ、高温で栽培が困難な夏を含めた周年栽培と大幅な省力化を実現します。

当社は、パナソニック株式会社 エコソリューションズ社のパッシブハウス型農業システムを導入することにより、効率の良い野菜栽培によって長期に亘る農業経営の拡大と多角化を行い、更に、障がい者の就労環境の向上を図ることで、障がい者雇用の場を創出していく予定です。また、「まいどおおきに食堂」などへの供給に加え、マスターフランチャイズ契約を締結したシンガポールのサラダ専門店「Salad Stop!」の国内店舗への供給も見据え、更なる規模拡大に向けたハウス拡張についても検討してまいります。

1. 当社概要

株式会社フジオファームは、食材の自社生産による安心・安全な食材提供、および農福連携(障がい福祉と農業の連携)を行うために設立した株式会社フジオフードシステムの100%子会社

名称	株式会社フジオファーム (代表取締役社長 : 藤尾政弘)
所在地	鳥取県東伯郡北栄町
資本金	2,500万円

事業内容	<ul style="list-style-type: none">・生産品目はジャガイモ、ダイコン等の根菜類、ホウレンソウ、レタス等葉物野菜を予定。・H28/3月から3.5haの農地にて植え付けを開始しており、将来的には8~10ha程度まで生産規模を拡大する計画。・生産した野菜は、「まいどおおきに食堂」および(株)フジオフードシステムがフランチャイジーとして展開する予定の新ブランド「SaladStop!」にて使用する方針。・将来的には、(株)フジオファームで生産した野菜と鳥取県の地元農業者が生産した農作物を取扱うアンテナショップを大阪府で立ち上げることも視野に入れる。
------	---



「環境制御型高機能ハウスの建設現場」

<お問い合わせ先> 株式会社フジオフードシステム 経営管理本部 仁田・余田 TEL 06-6360-0304